

特集2

新天体の名前は「'Ayló' chaxnim」…えっ？

小林道生（ウィキプロジェクト天体）

1. はじめに

近年発見・命名された小惑星の中に大変興味深い特徴を持つ小惑星が2つある。しかし、いずれも綴りを見ただけでは発音がわからず、日本語文献でカタカナ表記されたものもなかったため、ウィキペディアの記事に書くこともできなかった。読み方はおよそ推測が付いたものの、如何せん独自研究の域を出ずウィキペディアには書けないため、せめて天教会員の諸兄と共有したい。

2. (469219) Kamo'oalewa

(469219) Kamo'oalewa は、2016年に発見された地球近傍小惑星。地球の準衛星、いわば「第2の月」となっていることが話題となった。地球のヒル球の外側にあるため実際の衛星ではないが、地球の近傍でほぼ同じ周期で公転するため、地球から見ると1年周期で地球を周回しているように見える。

ハワイ州マウイ島のハレアカラ山にあるパンスターズで発見されたことから、ハワイの 'Imiloa Astronomy Center の提案により、ハワイの言葉で、「振動する（天体の）破片」を意味する言葉から命名された[1]。これは、より大きな天体の破片と見られていること、およびその軌道が振動しているように見えることに由来する。

ka が定冠詞、mo' o が「破片」、a が「の」、lewa が「振動する」をそれぞれ意味している。日本の WEB 記事では「カモオアレワ」[2]や「カモ・オアレワ」[3]として紹介されていた。母音の音を分ける声門閉鎖音を表す'（オキナ）と呼ばれる記号やv音として発音されることが多いwが無視されるのは良くない。また、mo' o で1単語のところを「モ・オ」と

切るのも不適切であろう。このように、いささかハワイ先住民への敬意を欠く表記が使われてしまったことは残念に思う。

IPA 発音記号では /kə|mouʔouə'lɛvə/ と表記されるようである。これと、提案者の 'Imiloa Astronomy Center が YouTube にアップしている動画[4]での聞き做しと合わせると、「カモッオアレヴァ」あたりの表記が妥当なところと思われる。

3. (594913) 'Ayló' chaxnim

(594913)'Ayló' chaxnim は、2020年1月にパロマー天文台の Zwicky Transient Facility (ZTF) の掃天観測用広視野カメラで発見された[5]。

着目すべきはその公転軌道で、何と遠日点が金星の近日点よりも内側にある。つまり、その公転軌道の全てが金星の公転軌道の内側にすっぽり入ってしまう。このような小惑星が発見されたのは史上初めてのことであり、2021年末現在でもこの条件を満たす天体は、水星と'Ayló' chaxnim の2つだけである。

地球の近日点距離よりも小さな遠日点距離を持つため、小惑星センターではアティラグループに分類されている。加えて初めての「金星の近日点距離よりも小さな遠日点距離を持つ」小惑星であることから、その名称が新たな小惑星グループの名称として使われる可能性が高く、どのように命名されるのか（一部で）注目を集めていた。

今回命名された'Ayló' chaxnim は、発見されたパロマー天文台のあるカリフォルニア州南部に住んでいたネイティブアメリカンの部族ルイセーニョ族の言語から作られた造語である[6]。'Ayló' chax が「金星」、nim が「娘、

少女」を意味する言葉で、合わせると「金星少女」「金星娘」となる。特にこのような女神や精霊の伝承が伝わっている訳ではない。

残念なことに、IAUの小天体の命名に関するワーキンググループ(WGSBN)から名称が発表されてから2ヶ月を経ても、私の知る限り日本語のメディアでこの天体に触れたものは皆無である。素人目にも興味深い天体だと思うのだが、話題にも上がらないことは勿体なく思える。

気になるカタカナ表記だが、英語版Wikipediaのルイセーニョ語、および当該小惑星の記事を参考にすることとした。Wikipediaの信用性は疑われることが多いが、英語版の先住民族の文化に対する配慮はかなり手厚いため、ここでは採用する。

英語版Wikipediaでは、/aɪˈlɔʊtʃæxniːm/というIPA発音記号を掲載している[6]。ルイセーニョ語ではxの表記でhの音を表現するため、無理を承知でカタカナ語書きすると、「アイロツチャフニム」になるうか。なかなか発音が難しく、小惑星グループの名前とするには少々厳しいように思うが、如何なものだろう。

4. おわりに

ウィキペディアの記事編集から天文普及に携わるようになってそろそろ10年近くになるが、太陽系小天体や衛星、恒星の固有名をどのようにカタカナ表記するかという問題はいつも悩みの種となっている。今回の例に限らず、どのメディアも粗雑なカタカナ表記が

多く、とても出典として使えるレベルにないのが実情である。我々趣味人が更新するウィキペディアと異なり、記者・ライターの方は締切に追われる中での記事執筆となるため、表記に時間をかける余裕もないことと推察されるが、そこで捻り出された珍表記が世間に広まってしまうというのも考え物である。

かかる状況を鑑みて、日本語読みの表記について、どこか権威ある組織が、根拠のある基準を定めて公表してくれないものかと、改めて切に願う次第である。

文 献

- [1] M.P.C. 112435
- [2] 秋山文野 「地球近傍小惑星「カモオアレワ」月から生まれたと米大学が発表。中国の小惑星探査機がサンプル採取へ」, Yahoo JAPAN ニュース 2021年11月12日.
- [3] 松村武宏「地球の準衛星「カモオアレワ」は月の破片かもしれない」, sorae, 2021年11月16日.
- [4] 'Imiloa 「Kamo'oalewa」 YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=0YvOy8JSaPk>
- [5] “WGSBN Bulletins Volume 1” , #11.
- [6] 594913 'Ayló' chaxnim https://en.wikipedia.org/wiki/594913_%C%A%BCAyl%C3%B3%CA%BCchaxnim

小林道生

* * * * *